

  	氏名	きたの みちよ 北野 道世	生年	昭和 37 年生
	住所	栃木県下野市		
	品目	かんぴょう ・ ユウガオの未熟果をひも状に剥いて干したもので、ミネラル、食物繊維が多い ・ 栽培は 300 年以上の歴史があり、栃木県が全国の 98%、その 5 割が下野市 ・ 栃木県内の生産は昭和 6 年の 2,250ha 3840t から、近年は 140ha 300t 程度 まで減少 ・ 国産は国内消費量の 1 割程度であるがニーズが高まって供給が追いつかない状態 ・ 平成 25 年しもつけブランドに認定		
	技術	乾燥作業の改善による安定生産と作業効率の向上 ・ 長蔓栽培と羊糞づくり（側枝を全て止める）により適期収穫 ・ 二酸化硫黄で燻蒸・漂白し、保存性を高める ・ ビニールハウス内に干場を作り、送風機、乾燥機を設置して作業を安定化 ・ 干場への運搬に台車を活用して軽作業化		
	活動状況	・ 大学卒業後に就農し、以後、34 年間、かんぴょう生産に従事		
	相談に 応じられる 分野・内容	・ かんぴょうの生産・加工について、現地（栃木県内に限る）において、収量向上のための土づくり、栽培管理、加工についての相談や指導 ・ 生産組合等での講習会講師 ・ 自園での都市生活者等に対する収穫体験や視察の受け入れ ・ 新規就農を目指す後継者を研修生として受け入れての技術指導 ・ 県内において、行政からの講演依頼の受け入れや小中学生等に対するふるさと学習等での講師		
	受賞歴			
	主な役職	・ しもつけかんぴょうまつり実行委員 ・ 平成 22 年～26 年 かんぴょう生産部会長		
HP				